

姫路城プラスワンの広域観光ルート

播磨圏域連携中枢都市圏は2月20日、関西地区の報道関係者を対象に現地取材会を実施した。

播磨圏域連携中枢都市圏は、兵庫県の8市8町（姫路市、明石市、相生市、加古川市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）で構成。総務省の新たな広域連携モデル構築事業に選定されている。同圏域の目玉事業である広域観光連携事業の一環で実施された。

2015年3月27日

播磨圏域連携中枢都市圏 広域観光連携事業

に、平成の大修理を終えグランドオープンした世界文化遺産・姫路城は日本の城郭として年間入場者数の最多記録を更新。同圏域では、姫路城目当ての観光客を圏域の観光地にも訪れてもらうモデルルート6コースを設定。パンフレットも作成している。

今回の現地取材会では、姫路城プラスワンをテーマに、「JFぼうぜ姫路」とれとれ市場

（姫路市）、綾部山梅林（たつの市）、レストラン「SORA NIWA」（姫路市）、共栄ゴルフ（市川町）、辻川山公園（福崎町）、もちむぎ食品センター「もちむぎのやかた」（福崎町）を紹介した。

レストラン

SORA NIWA

世界遺産姫路城を目前に望むフレンチレストラン。姫路市夢前町にある契約農家の野菜や姫路の魚介類を使うことこ

だわる。姫路城を望む1日2組貸し切りのウエディングも行っている。JFぼうぜ

姫路とれとれ市場

姫路市の水産物供給の拠点である妻鹿漁港に昨年グランドオープン。姫路の海でとれた、ぼうぜ鯖、ぼうぜがに、岩牡蠣

共栄ゴルフ

など新鮮な魚介類、地元の農産物や特産品も販売。食事コーナーやバーベキューコーナーでは、新鮮な海の幸をその場で

味わうこともできる。綾部山梅林 農事組合法人黒崎梅園組合が運営する24畝の広大な綾部山広陵の梅林で、海の見える梅林として西日本一といわれる。注目を集める瀬戸内海の絶景スポットの一つ。今年の観梅期は2月20日から3月21日まで。入園料は大人500円、子ども400円（梅ジュースまたは甘酒付き）。

市川町は「日本のゴルフクラブ生産発祥の地」。古くからの日本刀や火縄銃の銃身の製造技法の鍛

共栄ゴルフ

など新鮮な魚介類、地元の農産物や特産品も販売。食事コーナーやバーベキューコーナーでは、新鮮な海の幸をその場で

食や産業観光など魅力

関西地区の報道関係者にPR

ぼうぜ鯖



綾部山梅林



鍛造を用いたアイアン



水面から顔を出す河童



福崎町は民俗学者の柳田国男氏の出身地。同氏の自叙伝「故郷七十年」で紹介された地元の河童伝説を参考にした、ため池のほとりにある兄「河太郎（がたろう）」の像と、水面から顔を出す弟の「河次郎（がじろう）」が人気となっている。河次郎は午前9時〜午後5時の毎時0分と30分に水面から姿を現す。

辻川山公園

「もちむぎのやかた」福崎の特産品「もちむぎ」を製造、販売する第3セクター。レストランや売店もある。展示コーナーでは、もちむぎや福崎町に関する情報を映像で紹介。時間帯によってガラス越しに製造工程の見学もできる。

見学内容は、鉄の丸棒からアイアンヘッド完成までの全工程に及ぶ。要望があれば、ゴルフの歴史、鍛造の特徴などの講義も受けられる。事前の予約が必要。見学は月・土曜日（日・祝日は休業）、時間は午前9時〜午後5時。

造（たんどう）を用いたアイアンヘッドを製造、販売している共栄ゴルフで工場見学ができる。